

佐久市・北佐久郡環境施設組合
クリーンセンター（ごみ焼却施設）
建設・運営事業 審査講評

平成 28 年 9 月 1 日

新クリーンセンター建設・運営事業者選定審査委員会

目 次

1 事業概要	1
2 民間事業者の選定方法	2
3 選定審査委員会の設置	2
4 民間事業者の選定スケジュール	3
5 民間事業者の選定フロー	4
6 民間事業者の選定に係る審査	5
6.1 資格審査	5
6.2 提案審査	5
6.3 最優秀提案者の選定	13
7 総評	14

1 事業概要

1) 事業名称

佐久市・北佐久郡環境施設組合クリーンセンター（ごみ焼却施設）建設・運営事業

2) 対象となる公共施設等の種類

廃棄物処理施設

3) 事業目的

佐久市・北佐久郡環境施設組合クリーンセンター（ごみ焼却施設）建設・運営事業（以下、「本事業」という。）は、本施設の設計・施工及び運営業務を一括して民間に委託し、民間事業者の有する経営能力及び技術的能力の活用により、費用対効果の高い施設建設及び長期間にわたる効率的な施設運営を図ることによって、循環型社会の形成を推進することを目的とする。

4) 事業内容

本事業は、DBO 方式により実施する。本事業の設計・施工業務は、民間事業者が設立する建設共同企業体が行うものとする。本事業の運営業務は、特別目的会社が 19 年 6 箇月間にわたり行うものとする。

(1) 施設の立地条件

①事業用地及び工事用地

事業用地：佐久市上平尾字上舟ヶ沢、棚畑及び木戸ヶ入地籍内

工事用地：佐久市上平尾字上舟ヶ沢及び棚畑地籍内（敷地範囲）

②用地面積

事業用地：約 2.7ha

工事用地：約 1.9ha

(2) 施設概要

本施設は処理対象物を受入れ、焼却処理を行い、処理の過程で発生する熱エネルギーの有効活用を図る高効率発電設備を備えたごみ焼却施設である。

(3) 年間計画処理量

29,355t/年

(4) 施設規模等

110t/日（55 t / 日 × 2 炉）

(5) 処理方式

ストーカ式焼却炉（全連続燃焼式）

(6) 供用開始

平成 31 年 10 月予定

(7) 事業期間

事業期間は、次のとおりとする。

建設期間：契約締結日（平成 28 年 10 月予定）から平成 31 年 9 月 30 日まで。

ただし、平成 31 年 9 月 1 日からはごみの全量受入れを行うこと。

運営期間：平成 31 年 10 月 1 日から平成 51 年 3 月 31 日までの 19 年 6 箇月間。

2 民間事業者の選定方法

本事業を実施する民間事業者の選定に当たっては、競争性、公平性及び透明性を確保するため、地方自治法施行令(昭和 22 年政令第 16 号)第 167 条の 10 の 2 の規定に基づく総合評価一般競争入札により実施した。

3 選定審査委員会の設置

佐久市・北佐久郡環境施設組合（以下「組合」という。）は、民間事業者の選定に係る審査に当たり、専門的、技術的見地から提案内容を検討及び評価するため、新クリーンセンター建設・運営事業者選定審査委員会（以下、「選定審査委員会」という。）を設置し、以下のとおり、委員を選任した。

委員長	荒井 喜久雄	公益社団法人全国都市清掃会議技術指導部長
副委員長	松本 明人	国立大学法人信州大学工学部准教授
委員	佐藤 治	佐久市環境部長
委員	上野 幸一	佐久市環境部新クリーンセンター・斎場整備推進室長
委員	戸塚 幸一	佐久市環境部生活環境課長（～平成 27 年 3 月 31 日）
	市川 昇二	佐久市環境部生活環境課長（平成 27 年 4 月 1 日～）
委員	荻原 確也	軽井沢町生活環境課長（～平成 27 年 3 月 31 日）
	土屋 剛	軽井沢町生活環境課長（平成 27 年 4 月 1 日～）
委員	羽場 幸春	立科町町民課長（～平成 27 年 3 月 31 日）
	青井 義和	立科町町民課長（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）
	齊藤 明美	立科町町民課長（平成 28 年 4 月 1 日～）
委員	荻原 浩	御代田町町民課長
委員	青木 源	佐久市・北佐久郡環境施設組合事務局長

（順不同）

4 民間事業者の選定スケジュール

選定審査委員会の開催状況及び審査結果の公表状況等民間事業者の選定スケジュールは、表 1 に示すとおりである。

表 1 民間事業者の選定スケジュール

スケジュール	内 容
平成 27 年 2 月 6 日(金)	◆ 第 1 回選定審査委員会 事業概要説明、実施方針素案審査等
平成 27 年 3 月 14 日(土)	◆ 第 2 回選定審査委員会 事業者選定基準、要求水準書案審査等
平成 27 年 3 月 26 日(木)	実施方針公表
平成 27 年 4 月 24 日(金)	◆ 第 3 回選定審査委員会 特定事業の選定結果、要求水準書案審査等
平成 27 年 5 月 11 日(月)	特定事業の選定結果、要求水準書案公表
平成 27 年 7 月 3 日(金)	◆ 第 4 回選定審査委員会 募集要項審査等
平成 27 年 8 月 7 日(金)	要求水準書案修正版公表
平成 28 年 2 月 8 日(月)	募集要項案公表
平成 28 年 3 月 14 日(月)	入札公告及び募集要項公表・配布
平成 28 年 3 月 25 日(金)	募集要項に関する質問の受付締切
平成 28 年 4 月 11 日(月)	募集要項に関する質問への回答公表
平成 28 年 4 月 28 日(木)	参加表明書、参加資格審査申請書類等の受付締切
平成 28 年 5 月 13 日(金)	参加資格審査結果の通知
平成 28 年 5 月 23 日(月)	◆ 第 5 回選定審査委員会 概要ヒアリング、審査方法検討等
平成 28 年 6 月 27 日(月)	提案書の受付締切
平成 28 年 7 月 15 日(火)	◆ 第 6 回選定審査委員会 確認事項の抽出、提案書の審査等
平成 28 年 8 月 9 日(火)	◆ 第 7 回選定審査委員会 本ヒアリング、非価格要素審査等
平成 28 年 8 月 9 日(火)	最優秀提案者の選定
平成 28 年 8 月 31 日(水)	落札者の決定

5 民間事業者の選定フロー

民間事業者の選定の流れは、図 1 に示すとおりである。

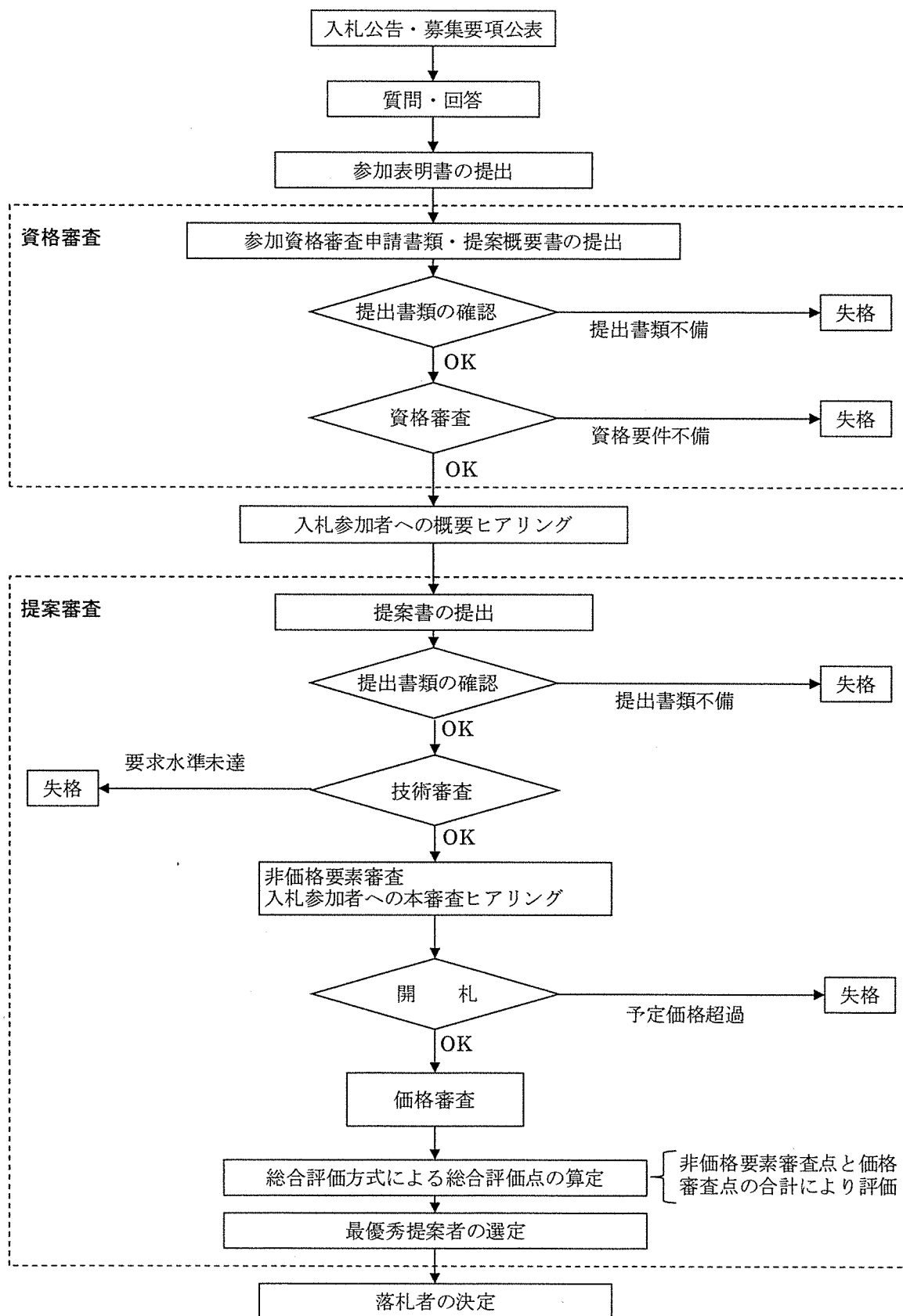


図 1 民間事業者の選定フロー

6 民間事業者の選定に係る審査

民間事業者の選定に係る審査は、第1段階における資格審査、第2段階における提案審査で構成する。

6.1 資格審査

平成28年3月14日に入札公告を行い、平成28年4月28日に参加表明書及び参加資格審査申請書類を受け付けたところ、表2の1グループから申請があった。

組合は提出された参加表明書及び参加資格審査申請書類について、入札説明書に示す参加資格要件を全て満たしていることを確認し、その結果を平成28年5月13日に代表企業に対し、入札参加資格を有することを書面にて通知した。

表2 参加表明書及び参加資格審査申請書類提出グループ

グループ名	Yグループ
代表企業	荏原環境プラント株式会社
構成員又は協力企業	株式会社竹花組

なお、選定審査委員会による審査に当たっては、審査の公平性を期すため、提案書等すべてにおいて企業名は伏せ、表2のグループ名で識別して評価を行った。

また、選定審査委員会による入札参加者への概要ヒアリングを行い、提案概要について対話を行い、入札参加者の要求水準書等に対する解釈の違い等の確認を行った。

6.2 提案審査

1) 技術審査

平成28年6月27日に入札参加者から提案書を受け付けたところ、Yグループより提出があった。提出された提案書について、提出書類の確認、技術提案書が要求水準書等に規定された要求水準等を満足しているか、また事業計画書が事業として妥当性を有しているかの審査を行った。その結果、Yグループは、組合が要求する水準を満足していたため、技術審査に合格しているものと認められた。

表3 提案書提出グループ

審査項目	Yグループ
提出書類の確認	合格
技術審査	合格

2) 非価格要素審査

平成28年8月9日に、選定審査委員会において非価格要素提案書の審査を行った。審査に当たり、提案書に関する入札参加者による説明（プレゼンテーション）及び提案内容に対する質疑（ヒアリング）を実施し審査を行った。具体的には、入札参加者から提出された非価格要素提案書を基に、表4に示す34項目について、表5に示す

A～Eの5段階評価を行い、点数化した。

非価格要素審査点結果を表6に示す。

表 4 評価項目、評価ポイント及び配点

評価項目		評価ポイント	配点	
1 設計・施工計画に関する事項			30	
(1) 施設の安定稼働	① ごみ量、ごみ質変動への対応	・ごみ量、ごみ質の変動に対して安定的かつ効率的なごみ処理及び発電を行うための施設上の工夫について優れた提案がなされているか。	3	7
	② 長期使用可能な施設建設	・30年間以上の長期使用を可能にするための施設建設上の工夫について優れた提案がなされているか。	2	
	③ 施設の強靱化	・災害時の施設強靱化(耐震、炉の立下げ・立上げ等)、避難ルートの施設上の工夫について優れた提案がなされているか。	2	
(2) 環境負荷の低減・循環型社会への貢献	① 組合財政負担の低減	・適切な売電を確保し、組合の財政負担を低減させる工夫について優れた提案がなされているか。	3	12
	② 公害防止対策	・工事中の公害(大気質、騒音、振動、低周波音等)に対して設備、施設上の工夫及び対策について優れた提案がなされているか。	1	
	③ 悪臭対策	・悪臭に対して設備、施設上の工夫及び対策について優れた提案がなされているか。	1	
	④ 温室効果ガス(CO ₂)の低減	・用役使用量の低減策、効率的な発電を行える設備上の工夫について優れた提案がなされているか。	2	
	⑤ 焼却残さ量の低減	・焼却残さ発生量について優れた提案がなされているか。	2	
	⑥ 焼却残さ処分委託先の確保	・提案される灰の資源化委託先、最終処分委託先について適切な提案がなされているか。	3	
(3) 配置・動線計画	① 安全設計	・施設稼働時における従業員の労働災害低減、搬入者や見学者等の安全確保の施設上の工夫について優れた提案がなされているか。	1	1
(4) 周辺環境との調和	① 周辺環境、景観に配慮した意匠計画	・施設の外観デザイン、外周部の緑化等隣接するスキー場の利用者及び周辺住民が受け入れてくれる周辺環境との調和に配慮した意匠上の工夫について優れた提案がなされているか。	3	3
(5) 施工計画	① 工事管理体制	・施設建設工事に当たり、工程遵守、作業体制・労働者の安全確保及び周辺環境への配慮について優れた提案がなされているか。	1	3
	② 環境モニタリング	・工事中において民間事業者が実施する環境モニタリングの具体的な実施内容及び開示方法について優れた提案がなされているか。	1	
	③ 情報管理計画	・民間事業者が管理する各種情報に係る組合との共有及び管理方法について優れた提案がなされているか。	1	
(6) 環境学習・啓発施設	① 環境学習支援	・見学ルート、啓発設備等施設上の工夫について優れた提案がなされているか。	1	1
(7) 地域への貢献	① 地元企業の活用	・設計・施工時における地元企業(組合組織市町内)の活用について優れた提案がなされているか。	2	3
	② 地域社会への貢献	・設計・施工時における地元支援及び協働(組合組織市町)について優れた提案がなされているか。	1	

評価項目		評価ポイント	配点	
2 運営計画に関する事項			26	
(1) 受付・受入管理計画	① 安定処理（ごみ量、 ごみ質変動以外）	・安定処理を行う上での、効率的かつ円滑な受付・受入業務（体制、人員配置等）に関する運営計画上の工夫について優れた提案がなされているか。	3	3
(2) 運転・維持管理計画	① 安全な運転計画	・運転、点検、補修工事における従業員及び作業員の安全確保、搬入者や見学者等の安全確保等運営時の人災低減のための方策について優れた提案がなされているか。	1	8
	② ごみ量、ごみ質変動 への対応	・ごみ量、ごみ質の変動に対して安定的かつ効率的なごみ処理及び発電を行うための運転の方法について優れた提案がなされているか。	3	
	③ 長期使用可能な施設 運営	・30年間以上の長期使用を可能にするための施設運転、維持管理方法について優れた提案がなされているか。	2	
	④ 事業期間終了時の 対応	・事業期間終了後も10年間以上施設を使用するため施設運営引継ぎ時における組合支援策について優れた提案がなされているか。	2	
(3) 情報・環境管理計画	① 環境モニタリング	・施設稼働中において民間事業者が実施する環境モニタリングの具体的な実施内容及び開示方法について優れた提案がなされているか。	1	6
	② 情報管理計画	・民間事業者が管理する各種情報に係る組合との共有及び管理方法について優れた提案がなされているか。	1	
	③ 公害防止対策	・施設稼働中の公害(大気質、騒音、振動、低周波音等)対策について優れた提案がなされているか。	3	
	④ 悪臭対策	・悪臭に対する運営上の工夫について優れた提案がなされているか。	1	
(4) 関連業務	① 運営時の災害対策	・事業期間中の災害時の対応においてごみ処理の継続、従業員及び来場者の安全確保のための運営上の工夫について優れた提案がなされているか。	2	4
	② 温室効果ガス (CO ₂)の低減	・用役使用量の低減策、効率的な発電を行える運転上の工夫について優れた提案がなされているか。	1	
	③ 環境学習支援	・組合の見学者対応に係る支援方法について優れた提案がなされているか。	1	
(5) 地域への貢献	① 地元企業の活用	・運営時における地元企業(組合組織市町内)の活用について優れた提案がなされているか。	2	5
	② 地域住民の雇用促進	・運営時における地元雇用(組合組織市町)の活用について優れた提案がなされているか。	2	
	③ 地域社会への貢献	・運営時における地元支援及び協働(組合組織市町)について優れた提案がなされているか。	1	
3 事業計画に関する事項			4	
(1) 事業の安定性	① 事業の安定性	・安定した事業収支計画が提案されているか。 ・事業の安定化を図るための工夫について優れた提案がなされているか。	2	2
(2) リスク管理と対応策	① リスク管理と対応策	・事業を継続するためのリスク評価、対策及び監視について優れた提案がなされているか。	2	2
1～3合計			60	60
1～3合計を50点に換算			50	

表 5 評価、評価内容及び採点の算出方法

評 価	評価内容	採点の算出方法
A	特に優れている	配点 × 100%
B	AとCの間	配点 × 75%
C	優れている	配点 × 50%
D	CとEの間	配点 × 25%
E	要求水準を満たす程度	配点 × 0%

なお、非価格要素審査点の算出に当たっては、以下に示す方法により評価点数の 50 点換算を行った。

$$\text{非価格要素審査点} = \frac{\text{評価点数}}{60 \text{ 点}} \times 50 \text{ 点}$$

表 6 非価格要素審査結果

評価項目		配点		Yグループ	
1 設計・施工計画に関する事項		30		18.92	
(1) 施設の安定稼働	① ごみ量、ごみ質変動への対応	3	7	2.17	4.73
	② 長期使用可能な施設建設	2		1.28	
	③ 施設の強靱化	2		1.28	
(2) 環境負荷の低減・ 循環型社会への貢献	① 組合財政負担の低減	3	12	2.33	7.78
	② 公害防止対策	1		0.64	
	③ 悪臭対策	1		0.61	
	④ 温室効果ガス（CO ₂ ）の低減	2		1.67	
	⑤ 焼却残さ量の低減	2		1.11	
	⑥ 焼却残さ処分委託先の確保	3		1.42	
(3) 配置・動線計画	① 安全設計	1	1	0.47	0.47
(4) 周辺環境との調和	① 周辺環境、景観に配慮した意匠計画	3	3	2.00	2.00
(5) 施工計画	① 工事管理体制	1	3	0.58	1.61
	② 環境モニタリング	1		0.50	
	③ 情報管理計画	1		0.53	
(6) 環境学習・啓発施設	① 環境学習支援	1	1	0.44	0.44
(7) 地域への貢献	① 地元企業の活用	2	3	1.33	1.89
	② 地域社会への貢献	1		0.56	
2 運営計画に関する事項		26		16.55	
(1) 受付・受入管理計画	① 安定処理（ごみ量、ごみ質変動以外）	3	3	1.75	1.75
(2) 運転・維持管理計画	① 安全な運転計画	1	8	0.56	5.37
	② ごみ量、ごみ質変動への対応	3		2.25	
	③ 長期使用可能な施設運営	2		1.17	
	④ 事業期間終了時の対応	2		1.39	
(3) 情報・環境管理計画	① 環境モニタリング	1	6	0.58	3.85
	② 情報管理計画	1		0.58	
	③ 公害防止対策	3		2.08	
	④ 悪臭対策	1		0.61	
(4) 関連業務	① 運営時の災害対策	2	4	1.28	2.39
	② 温室効果ガス（CO ₂ ）の低減	1		0.64	
	③ 環境学習支援	1		0.47	
(5) 地域への貢献	① 地元企業の活用	2	5	1.33	3.19
	② 地域住民の雇用促進	2		1.33	
	③ 地域社会への貢献	1		0.53	
3 事業計画に関する事項		4		2.61	
(1) 事業の安定性	① 事業の安定性	2	2	1.39	1.39
(2) リスク管理と対応策	① リスク管理と対応策	2	2	1.22	1.22
1～3合計		60	60	38.08	
1～3合計を50点に換算（非価格要素審査点）		50		31.73	

各評価項目についての講評は、表 7 のとおりである。

表 7 評価項目に対する講評

評価項目		講評
1 設計・施工計画に関する事項		
(1) 施設の安定稼働	① ごみ量、ごみ質変動への対応	・ 代表企業が 246 施設の納入実績を有するストーカ炉で、独自の焼却技術による対応可能範囲が広い提案がされており、評価できる。
	② 長期使用可能な施設建設	・ 30 年以上の長期間運転での補修更新頻度の低減方策は評価できる。 ・ 建築物等に対する長期使用可能な提案についても期待したい。
	③ 施設の強靱化	・ 全体的な耐震性の向上、研修室の耐震天井等見学者への配慮ある提案がされており、評価できる。
(2) 環境負荷の低減・循環型社会への貢献	① 組合財政負担の低減	・ 要求水準より高い発電効率と最大化のための工夫、薬剤や油脂類の使用量低減の提案がされており、評価できる。
	② 公害防止対策	・ 地域住民・隣接スキー場来場者への配慮・対応策が検討されており、評価できる。
	③ 悪臭対策	・ 自主規制値の設定、臭気を外部に漏らさない施設配置の提案がされており、評価できる。
	④ 温室効果ガス(CO ₂)の低減	・ 省エネ機器、発電量最大化を図る先進設備の導入による温室効果ガスの低減の提案がされており、評価できる。
	⑤ 焼却残さ量の低減	・ 薬剤使用量の最適化による焼却残さ量の提案がされており、評価できる。
	⑥ 焼却残さ処分委託先の確保	・ 複数の委託先が関心表明を添えて提案されており、評価できるが、組合の意向を十分に踏まえ、確実な受け入れ先の確保等具体的な取り組みを期待したい。
(3) 配置・動線計画	① 安全設計	・ エリア別のサイン計画による施設利用者、有効な道路幅による従業員の安全性が提案されており、評価できる。 ・ 災害時の見学者の避難経路については、改善を期待したい。
(4) 周辺環境との調和	① 周辺環境、景観に配慮した意匠計画	・ 全体的には周辺環境と調和したデザイン、圧迫感を感じない提案がされており、評価できる。 ・ 南側(市道)からの視点に対する更なる圧迫感低減の工夫を期待したい。

評価項目		講評
(5) 施工計画	① 工事管理体制	・ ステップ毎の重点管理による工事管理体制が提案されており、評価できる。
	② 環境モニタリング	・ 適正な環境モニタリングの実施、対策方法が具体的に提案されており、評価できる。
	③ 情報管理計画	・ 工事中の情報管理について、具体的に提案されており、評価できる。 ・ 一般公開に対する提案をされており、評価できる。
(6) 環境学習・啓発施設	① 環境学習支援	・ ストーカー火格子、集じん器ろ布等の実物展示、見学者同士での環境意識の共有を目指した提案がされており、評価できるが、小学生等本地域の将来を担う子供たちへの環境教育内容について具体的提案が少なく、ハード面における一層の充実を期待したい。
(7) 地域への貢献	① 地元企業の活用	・ 地元企業への発注について、具体的な提案がされており、評価できる。
	② 地域社会への貢献	・ 地域社会への貢献として、地元への支援、協賛等一層の充実を期待したい。
2 運営計画に関する事項		
(1) 受付・受入 管理計画	① 安定処理(ごみ量、ごみ質変動以外)	・ 安定処理のための人員配置、渋滞防止及び対策について具体的な提案がされており、評価できる。 ・ 処理不適物混入の複数段階チェックによる防止対策が提案されており、評価できる。
(2) 運転・維持 管理計画	① 安全な運転計画	・ 経験豊富な人員配置、代表企業による一貫したリスクマネジメントが提案されており、評価できる。
	② ごみ量、ごみ質変動への対応	・ 地域特性に配慮した操炉計画、ごみ均質化のための独自技術が提案されており、評価できる。
	③ 長期使用可能な施設運営	・ 30年以上の運営実績に基づいた、独自のPDCAサイクルによる施設の長期使用が提案されており、評価できる。
	④ 事業期間終了時の対応	・ 事業終了後も、長期間の無償技術サポートが提案されており、評価できる。
(3) 情報・環境 管理計画	① 環境モニタリング	・ モニタリングの結果開示方法について組合との連携方法が提案されており、評価できる。
	② 情報管理計画	・ DBO施設の実績に基づいた、情報管理について提案がされており、評価できる。
	③ 公害防止対策	・ 異常値に対する早期な対応方法の具体的な提案がされており、評価できる。
	④ 悪臭対策	・ 悪臭防止対策として、臭気判定頻度を多くする、定期清掃の実施等が提案されており、評価できる。

評価項目		講評
(4) 関連業務	① 運営時の災害対策	・ 隣接するスキー場との連携、代表企業におけるサポート体制、人員の派遣、物資の輸送体制等の適切な対応が提案されており、評価できる。
	② 温室効果ガス(CO ₂)の低減	・ 運営期間中の省エネへの取り組み方法、管理方法について独自提案がなされており、評価できる。 ・ エネルギー管理体制について、役割の明確化、代表企業のバックアップ体制が具体的に提案されており、評価できる。
	③ 環境学習支援	・ 環境学習支援について、本施設における小学生等への環境教育内容の具体的提案が少なく、本地域の将来を担う子供たちへのソフト面における一層の充実を期待したい。
(5) 地域への貢献	① 地元企業の活用	・ 地元企業への発注促進、代表企業の役割が提案されており、評価できる。 ・ 地元企業の育成を通じた更なる活用拡大を期待したい。
	② 地域住民の雇用促進	・ 代表企業の支援のもと、計画的な地元雇用の創出について、具体的な提案がされており、評価できる。
	③ 地域社会への貢献	・ 地域社会への貢献として、地元への支援、協賛等更なる連携を期待したい。
3 事業計画に関する事項		
(1) 事業の安定性	① 事業の安定性	・ 代表企業のバックアップ体制、緊急時のサポート体制が具体的に提案されており、評価できる。
(2) リスク管理と対応策	① リスク管理と対応策	・ 代表企業へのリスク移転、代表企業からの支援体制が具体的に提案されており、評価できる。

3) 価格審査

入札参加者の立会いのもと平成 28 年 8 月 9 日に開札を行い、入札価格が予定価格の範囲内であることを確認した。

選定審査委員会では、開札結果の報告を受け、以下に示す方法により、入札価格の点数化を行った。

価格審査点結果を表 8 に示す。

$$\text{価格審査点} = \frac{\text{最低入札価格}}{\text{入札価格}} \times 50 \text{ 点}$$

表 8 価格審査点結果

項目	Y グループ	予定価格 (上限額)
施設整備費	8,352,000,000 円	—
運 営 費	6,289,000,000 円	(6,511,000,000 円)
合 計	14,641,000,000 円	14,641,000,000 円
価格審査点	50	—

※ 消費税及び地方消費税は含まない

4) 総合評価

2) の非価格要素審査点と、3) の価格審査点を加えて、以下の方法により表 9 のとおり、総合評価点を算出した。

$$\text{総合評価点} = \text{非価格要素審査点} + \text{価格審査点}$$

表 9 総合評価点結果

項目	Y グループ
非価格要素点	31.73 点
価格審査点	50.00 点
総合評価点	81.73 点

6.3 最優秀提案者の選定

選定審査委員会は、6.2 4) の結果に基づき荏原環境プラント株式会社を代表企業とする Y グループを最優秀提案者として選定した。

7 総評

本事業への応募は結果的に1グループであったが、その提案内容は代表企業の豊富な経験とノウハウが十分に盛り込まれており、評価できるものであった。今回、提案書作成における多大なる努力に対し敬意を表するものである。

選定審査委員会は、厳正なる審査の結果、荏原環境プラント株式会社を代表企業とするYグループを本事業の最優秀提案者として選定した。

Yグループの提案については、ごみ量・ごみ質への対応、周辺環境との調和、設計・建設及び運営期間にわたっての地元雇用について具体的かつ実現性がある優れた内容であることを評価した。

なお、焼却残さ処分先として最終処分、資源化の双方について複数の委託先を提案されている点は評価できるが、確実な受け入れ先の確保等具体的な取り組みについては組合の意向を十分に踏まえることを期待したい。

また、合わせて公共サービスの更なる向上に向け、Yグループは次の点などに留意して本事業を進められたい。

- ・ 設計・建設及び運営期間をとおして、要求水準事項及び提案事項については、誠意をもって履行すること。
- ・ 将来に向けた安全・安定・安心なごみ処理体制を維持していくために、施設の長期使用可能な設計施工及び運営に配慮すること。
- ・ 地元雇用については、組合及び組合組織市町の意向を十分に踏まえたうえで実施すること。
- ・ 地元貢献については、地元発注、人材活用その他、地域コミュニティへの協力、地元イベント協賛等含め、より一層努力すること。
- ・ 本事業を実施する上で、関係する施設（灰処分先、資源化先等）及び道路等における環境保全に努めること。
- ・ スキー場が隣接する等の地元の状況を十分考慮し、悪臭防止には万全な対策を講じること。
- ・ 外観デザインや周辺の植栽については、組合、地元住民及び隣接するスキー場関係者の意向を十分に踏まえ、周辺環境との調和を図るなど、より一層景観へ配慮すること。

最後に、組合とYグループは、今後、長期にわたり良好なパートナーシップを構築し、本事業をより良いものにするためにより一層努力されることを期待する。

平成 28 年 9 月 1 日

新クリーンセンター建設・運営事業者選定審査委員会
委員長 荒井 喜久雄